

3年	単 元 名	重さのたんいとはかり方
算数		

1. 単元の目標

- ・ 重さについて、単位や単位の間を理知し、およその見当をつけ、適切な計器を選んで測定することができる。
【知識及び技能】
- ・ 身の回りのものの重さやその単位に着目し、量感覚を身につけたり、単位の間を統一的に考え、説明したりしている。
【思考力、表現力、判断力等】
- ・ 身の回りにあるものの重さやそれらを数値化することのよさ、普通単位の間を必要性を振り返り、数理的な処理のよさに気づき、今後の生活や学習に活用しようとしている。
【学びに向かう力、人間性等】

2. 学校図書館活用のポイント※目標との関連も踏まえて

- ・ 図書館資料を活用し、生き物や乗り物など生活の中にある重さを調べ重さカードを作った。
- ・ 長さや重さ、かさのどの既習の単位について、接頭語と単位の間について単位表にまとめる活動を行った後、作成した重さカードを単位表に貼っていくことにより、量感がとらえやすくなった。

3. 授業での活用場面

主な学習活動と予想される児童の反応(・)	○指導者の支援 ◆評価 ☆学校図書館の活用に関すること																																												
1 既習の単位を想起する。 L、mL、mm、cm、km、g、kg 2 単位を表に並べる。 <table border="1"><tr><td></td><td></td><td>センチ c</td><td>デシ d</td><td>もとにする 単位</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>長さ</td><td></td><td></td><td></td><td>1 m</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>かさ</td><td></td><td></td><td></td><td>1 L</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>重さ</td><td></td><td></td><td></td><td>1 g</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 3 共通の接頭語があることに気づき、その意味を考える。 ・ k(キロ)のついている単位は全部同じ列にある。 ・ m(ミリ)も同じ列にあるよ 4 めあてを知る。 m、kの意味を説明しよう。 5 接頭語(m、k)にはどのような意味があるか考える。			センチ c	デシ d	もとにする 単位							長さ				1 m							かさ				1 L							重さ				1 g							○ これまでに学習した単位について、書き方や読み方を確かめる。 ○ 単位カードに書き、関係が見えるようにする。 ○ c、dを全体で確認する。 ○ 本時の課題がつかめるよう、単位「m、g、L」と接頭語「m、k」について考えることをわかりやすくする ○ 並べたカードを表にし、何倍の関係になっているか矢印を用いて書き込み、まとめる。 ○ 表をもとにk(キロ)やm(ミリ)などの接頭語は、基準となる大きさが何個分(何倍)になるかを表していることを捉えられるようにする。 ◆ 既習の長さや重さ、体積についての単位とその接頭語に着目して、それぞれの量の単位の関係が分かり、表を用いて説明することができる。 (ワークシート、ノート)
		センチ c	デシ d	もとにする 単位																																									
長さ				1 m																																									
かさ				1 L																																									
重さ				1 g																																									

6 ふりかえり ・ m(ミリ)ということばがつくたんいは 1000 個集めると m(ミリ)がとれる ・ m(メートル)や g(グラム)で表すものは 1000 倍すると k(キロ)がつく。 7 前時で調べた「重さカード」を表を用いて確認する	☆ 前時で学校司書と連携し、重さについて掲載されている資料から調べた「重さカード」を用いて、表に並べ、量感をつけられるようにする。
--	--

4. 考察（成果や課題等）

学習に並行して関係資料を準備しておくことで、児童の「重さ」に関する興味関心がより高まった。実際の生活と結び付けて、重さの単位について考え、発言する児童が増えた。